

第1回第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 会議録

開催日時	令和2年8月18日（火曜日） 午後1時30分・開会 午後3時35分・閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター2階大会議室
出席委員等	委 員：北村委員長、野田副委員長、山口・森・高桑・藤井・寺嶋・村田・本村・宍戸・毛利・西川・出口各委員 各部会長：石塚総務課長、星健康子ども課長、安藤農政課長
欠席委員等	中川委員
事務局職員	企画財政課：佐藤課長、西海谷主幹、奥田主任
議題	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 町長挨拶 4. 自己紹介 5. 委員長、副委員長の選出 6. 委員長挨拶 7. 諮問 8. 議題 (1) 会議の進め方等について (2) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例について (3) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート（案）について (4) 第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各分野別における基本目標・基本施策について 9. 今後のスケジュールについて 10. その他（1）次回の会議日程について 11. 閉会
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	(1) 第1回第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議案 (2) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート
その他	

1. 開 会

佐藤課長) 第1回第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を開催します。本日は過半数の13名委員が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

2. 委嘱状交付

佐藤課長) 石田町長より委嘱状の交付をさせていただきますので、委員の皆様方はその場でご起立の上、お受け取りを頂きたいと思います。

*町長より各委員に委嘱状交付

3. 町長挨拶

石田町長) 本日は皆々様方には何かとお忙しい中ご出席を賜りました。心から厚く御礼申し上げます。

さて、湧別町のまち・ひと・しごと創生総合戦略であります、第1期の計画が令和2年度をもって計画期間が終了となり、この策定委員会において令和3年度からの第2期の計画を策定することとなります。町としては最上位の計画であります湧別町総合計画が令和4年度から3期目ということで現在策定に向けて作業をしているところですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略についても総合計画と連動しながら策定することになると思っております。

人口減少など本当に厳しい時代ではありますが、明るい未来に少しでも近づけるよう努力をしていかなければならぬと思っています。委員の皆様には今後それぞれお忙しい中お世話になると思いますが、よろしくお願い申し上げて、開会にあたっての挨拶とさせて頂きます。よろしくお願い申し上げます。

4. 自己紹介

佐藤課長) つづきまして、本策定委員会の委員の皆様方から、自己紹介をお願いしたいと思います。では、野田委員からよろしくお願ひします。

各委員・部会長・事務局) それぞれ挨拶

5. 委員長、副委員長の選出について

佐藤課長) それでは、正副委員長が決まりますまでは、石田町長を議長として会議を進行させて頂きたいと思います。石田町長よろしくお願ひいたします。

石田町長) それでは、正副委員長が決定するまで、私の方で会議を進めさせて

頂きたいと思います。それでは、これより正副委員長を決めたいと思
いますけれども、どのような方法で選出といいますか、決定をしたら
いいか、お伺いをしたいと思います。

高桑委員) 町長に一任でいかがでしょうか。

石田町長) 私に一任という意見がありますけども、よろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

石田町長) ただいま、そのような声がありましたので、私の方で正副委員長の
ご指名をさせて頂きたいと思います。それでは、正副委員長の指名を
させて頂きたいと思います。まず、委員長には湧別町自治会連合会会长
の北村委員、そして副委員長には、湧別町農業協同組合参事の野田
委員を指名したいと思いますが、委員の皆様にお伺いしたいと思
います。いかがでしょうか

各委員) 異議なし。

石田町長) ありがとうございます。それでは、委員長に北村委員、副委員長に
野田委員に決定をさせて頂きます。

正副委員長が決まりましたので、こちらの席にお願いしたいと思
います。

6. 委員長挨拶

佐藤課長) それでは、北村委員長と野田副委員長からそれぞれご挨拶を頂きた
いと思います。

北村委員長) ただいま、ご指名を頂きました屯市自治会会长、湧別町自治会連合
会の会長を今、4年目を迎えております北村と申します。ただいま、
皆様のご推薦を頂き、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委
員会の委員長となりました。皆様のご協力を頂きながら、会議を進め
て参りたいと思いますので、皆様の忌憚のないご意見とともにご協力
頂きますようよろしくお願い申し上げます。

野田副委員長) ただいま、副委員長ということで、ご指名を頂きました。北村委員
長を補佐しながら、委員会の運営がスムーズにいくように努力してい
きたいと思いますので、皆様のご協力をお願いしながら、簡単ではござ
いますが、就任のご挨拶とさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

7. 諮問

佐藤課長) それではここで、石田町長より湧別町まち・ひと・しごと創生総合
戦略策定委員会条例第2条の規定に基づき、第2期湧別町まち・ひ
と・しごと創生総合戦略に係る諮問書を湧別町まち・ひと・しごと創

生総合戦略策定委員会の北村委員長に手渡しをさせて頂きます。

- 石田町長) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会委員長 北村茂様。「湧別町人口ビジョン」の改訂及び「第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定についての諮問。それぞれ現計画につきましては、平成28年3月に「湧別町人口ビジョン」及び「湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みを進めて参りました。しかしながら、令和2年度で計画期間が終了することから、引き続き地方創生の流れを強化・継続し、切れ目のない取り組みを進めるため、新たな総合戦略の策定を進める必要があります。つきましては、「湧別町人口ビジョン」の改訂及び「第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に際し、湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例第2条の規定により諮問をし、意見を求める。お世話になりますが、よろしくお願ひ申し上げます。
- 佐藤課長) 石田町長につきましては、この後、他の公務がございますので、ここで退席させて頂きすることをお許し頂きたいと思います。
それでは、これから議事進行につきましては、湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例第6条の規定に基づき、北村委員長を議長として会議を進めて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

8. 議題

- (1) 会議の進め方等について
※議案に基づき事務局から説明 質疑無し
- (2) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会条例について
※議案に基づき事務局から説明 質疑無し
- (3) 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート（案）について
※資料に基づき事務局から説明

『2ページから8ページ 「総合戦略とは」～「まち創生」』

北村委員長) ありがとうございます。ただいま、事務局から説明をさせて頂きました。今の説明の中から皆さんにご意見等お聞きをしていきたいと思います。2ページから20ページまでを皆さんに質問していきますとなかなかまとめるのも難しいのかなと思いますので、2ページから8ページの中で皆様からご意見等をお伺いしたいと思います。第1期の効果検証を行うことにより、取り組みの成果や課題を把握して第2期にむけて計画を策定するということになっておりまして、事務局から説明されたものは第1期の方々が協議し事務局がまとめたものと自分は理解しております。その辺を勘案しながら、皆様のご意見を頂き

たいと思います。

出口委員) 事務局からも説明がありましたが、この計画そのものは非常に大切な事なんだと私は思います。最終的には、この町のビジョンをどう描いていくかという中で、有識者の方々の抱えている問題や夢も含めて、自由活発に議論し、この1期目をベースに肉付けをしていかないといけないと思います。あまり無理のない程度に、現状の湧別町の身の丈にあった目標でいくべきだと思います。ただ今回の場合、コロナというものがあり様々な文章を見ると日本中に人の流が変わることをよく目にしますが、現実にそうなるかどうかはその町村の努力でもあり、関係人口を増やしていくチャンスにもなるということはわかります。まず今日は1回目の会議ですので、皆さんの専門的な有意義な意見を十分に聞かせて頂いてから、自分の意見を、私の中で考えたいと思います。

寺嶋委員) 細部を見たところ達成率がEというとろに目がいったのですが、例えば、11ページ平均出生数の実績値が47人で達成率がEですが、そもそも出生減は全国的な傾向でもあり、実際は取り組みを通して一定の効果が感じられるので、上方修正という形で評価すべきところもあると思います。

村田委員) まずは全国的な少子化現象の減少率と、本町での減少率を再度分析しながらどのような施策をやっていくのか検討する必要があると思います。感覚的には人口減少は感じられないが、データを見る限り減っています。湧別高校としては、Uターン、もしくは地元就業率のアップが課題となると思います。

本村委員) 数値目標の「住み続けたい、できれば住み続けたい」が67.6%となっており、非常に納得ができます。その反面で、社会増減数が目標値を上回って減少しているので、この内容についてもっと検証する必要があると思います。空き家対策については、当行にも空き家を活用するローンの仕組みがありますが、過疎地域では難しい実情もあり実績はあまりないと聞いております。やはり地元を知っている人が関わりながら仕組みを構築する必要があると思います。

宍戸委員) 町民アンケートの調査結果を達成率に使用していますが、そもそも町民アンケートというのはどういったものなのか教えて頂きたい。

西海谷主幹) 町民アンケートは町の第3期総合計画の策定に伴い今年の4月から5月にかけて、18歳以下と90歳以上の高齢の方を除いた3400人を対象に実施しました。当時、この計画を6年前に策定をしておりますが、KPIは当時実施しました第2期総合計画の策定に伴う町民ア

ンケートによる結果を目標値という形で設定していますので、今回についても同じく町民アンケートの数字を活用した内容になっていきます。

宍戸委員) 回答率は何パーセントですか。

西海谷主幹) 回答率は 48% ということで、約半数の方に回答していただいております。

佐藤課長) アンケートの結果についてご説明しましたが、18 歳未満については、中学生と湧別高校生については全員に対してアンケート調査をさせて頂きました。その結果を分析したものを一覧にしたものを作らせて頂きましたので、委員の皆さんにも冊子にしたアンケート結果をお配りさせて頂きたいと思います。ご用意出来次第、郵送させて頂きますのでぜひお目通しください。

森委員) 年齢階層的な部分も分析されているんでしょうか。

佐藤課長) 各設問の年齢階層別の回答状況も資料として提供できますので、町民アンケートと合わせてご用意が出来次第、郵送いたします。

北村委員長) 「災害対策の安心感」で、自分の自治会では避難場所が国道より低い場所にあります。加えて水道設備、電気設備等が 1 階もしくは地下にあるそういう避難場所が多いので、今後新しく建てるものに関しては様々な災害に対応できる施設としなければならないと思います。

« 9 ページから 13 ページ 「ひと創生」 »

寺嶋委員) 目標値の設定についてですが、目標値の設定で評価というものが決まってくると思います。これは役場の各部署の施策の観点で目標値を設定したということでしょうか。

西海谷主幹) 目標値については、まずは担当部署において設定し、その内容を有識者会議で確認し、最終的に目標値として設定しました。

« 14 ページから 16 ページ しごと創生 »

北村委員長) 続きまして、しごと創生ということで、14 ページから 16 ページまでについて皆様の意見をお伺いしたいと思います。

高桑委員) 「仕事や働き口に対する安心感」の数値目標は達成しており各施策についても A ランクで非常に良好な結果となっていますが、現実的には商工会としては事業者数も減っている状態であります。このよ

うな中で、それをどうしていくか一緒に考えていきたいと思います。

山口委員) 率直に前回の総合戦略で達成率が 90%を超えてるのは全体の 8 割ということで大変すばらしいと思います。人口減少する中で、農協では地元での採用も難しいということで数年前から札幌へ出向いて採用活動をしているが、町外に湧別町をアピールするものが無い状況です。例えば、住宅の整備や町外からの新卒者は税金を免除するなど湧別町に来たいと思える魅力ある施策を考えていければと思います。

野田副委員長) 地域産業の振興と人材の育成の中で、目標値 220 億のところ実績値が 234 億ということで非常に誇らしい数字だと思います。農協としては一次産業を中心とした対策を今後も進めていく予定ですが、雇用の面でいけば、既存の施設や哺育育成センターなどの新たに建設する施設もあり、それに伴う雇用やその家族が増えれば、町の活性化にも繋がると思います。

本村委員) 湧別町は一次産業が盛んな町でこれが衰退するとおのずと人口減少に繋がります。様々な地方創生のメニューを活発に実施していると思いますが、もっと一次産業の就業者に絞ったメニューを作り、住居、教育、病院も整備し家族全員で湧別町に来てもらえるような大胆な施策が必要だと思います。移住の希望者は簡単には出てこないが、そこに一次産業の就労者をしっかり加えて定住者を作っていくことが大事だと思います。

宍戸委員) 住宅建設に係る施策を色々と講じていますが、やはり仕事がないと家も建てられない。銀行からの融資だけでは全然足りないので、雇用対策について効果的な施策を考えていきたいと思います。

森委員) 本村委員からの意見にもありました、一次産業に絞った施策というのは絶対に考えるべきだと思います。水産業、漁業加工業も含めて仕事はあるが、これら一次産業における人手不足の問題があります。この問題に対する戦略を町はすべきであり、人口対策にも影響すると思います。

《17 ページから 19 ページ 総合戦略の効果検証》

北村委員長) 続きまして、17 ページから 19 ページ、創生総合戦略の効果検証についてということに関しては、ご意見等があればお聞きしたいと思います。

村田委員) 町内の就労人口に対して町外からの就労人口は何%でしょうか。人

口減少対策として、町外からの就労者が町内に住んでもらう事も考えた場合、この数字が関係すると思います。

西海谷主幹) 次回委員会までに調べてご報告します。

〈5分休憩〉

《20ページ 策定委員会による所見》

北村委員長) 策定委員会による所見については、各委員からの意見を事務局でまとめる予定となっています。その他に第2期の策定委員会を進めるうえで何かあればお伺いします。

寺嶋委員) それぞれの施策の部署で専門性を活かした中で目標が設定されており、それに対して達成具合を評価していますが、目標設定を的確なものにすれば、当然的確な評価ができます。引き続きこの手法で行えば、非常に有効だと感じました。

森委員) 本来、国際貢献という目的できている外国人実習生ですが、現実は人手不足を補うための就労となっています。現在町内に何名の外国人実習生がいるのでしょうか。

奥田主任) 水産加工・酪農関係で把握しているだけで 130 人から 140 人くらいです。

森委員) 外国人実習生は町民となっており、総合戦略の人口にも含まれるのでしょうか。

西海谷主幹) 外国人実習生についても町民となっており数値に含まれます。

出口委員) 一次産業に特化した施策も一つの方法として必要ですが、建設・土建業のウエイトも大きく、これら屋台骨となっている建設・農畜産をしっかり維持した中で、全体的なことも考えその他の分野についても種をまいていく必要があると思います。雇用の関係では、例えば建設、農業・水産関係や公務員を含めて年間 50 人を湧別高校の卒業生とマッチングできれば人口減となりませんが、若い人にとっては一次産業はとても厳しいイメージがあり、その点についてどう改善するか検討する必要があると思います。

村田委員) 漣別高校の卒業生の半分は就職者です。今年度は生徒数が 36 名おり約 20 人が就職希望で、残りは大学や専門学校への進学となっています。生徒の就職先のニーズでは農業・漁業後継を含む地元への就職が中心となっています。進学者のUターンを進めるためには地元の魅力化を図る必要があると思います。

- (4) 第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各分野別における基本目標・基本施策について
※議案に基づき事務局から説明

西川委員) この委員会の中でこれから3部会に分かれて会議を進めることになるのでしょうか。

佐藤課長) 部会は内部で協議するため分けています。策定委員会については、まち・ひと・しごとのそれぞれの項目に対して全体的にご意見を頂くことが策定委員会のこれまでの流れになっています。

森委員) 基本施策ですけども、第1期に比べて、大きく変わった特徴というのは何かありますか。

佐藤課長) 基本施策は前回と大きく変わっているところありません。文言的には、どの部会についても、基本目標に我が町ということにこだわった施策を進めていこうということで「ゆうべつ」の文言を入れています。

9. 今後のスケジュールについて

※議案に基づき事務局から説明

10. その他

- (1) 次回の会議日程について

西海谷主幹) 次回の会議日程は10月中旬ごろを予定とし、9月下旬に日程調整します。

11. 閉会

北村委員長) ありがとうございます。次の会議の日程につきましては、令和2年10月中に開催することとし、その日程については9月の末に皆様に都合の良い日をまた文章等でお知らせし決定次第、皆様にご案内するということですが、以上のようななかたちでよろしいでどうか。それでは、長時間に渡りまして皆様の貴重なご意見、誠にありがとうございました。これから事務局の方で、第2回目の会議に向けての資料作成、出来た資料等につきましては、開催日の10日前までには皆様のお手元に届けるというお話を頂いておりますので、資料等が届きましたらご一読いただきましてよろしくお願ひしたいと思います。

大変お忙しい中、ご出席を頂き、ご意見を頂きまして本当におりを申し上げまして、本日の会議を閉めたいと思います。

ありがとうございました。

午後3時35分終了